

エクセル関数日本語化

Ver2.00/2.02 対応

関数ウィザード 関数のネスト編



エクセル関数日本語化

Ver2.00/2.02 対応

関数ウィザード 関数のネスト編



目次

内容

1	やること	3
2	実践手順	4
2.1	はじめに	4
2.2	関数ウィザードで四捨五入関数を選ぶ	5
2.3	四捨五入関数の「数値」ボックスをクリックする	6
2.4	関数のリストボックスから「その他の関数」を選択する	7
2.5	「平均」関数を選択する	8
2.6	平均を計算するセル範囲を指定する。その1	9
2.7	平均を計算するセル範囲を指定する。その2	10
2.8	セル入力ボックスで、「平均」関数入力から「四捨五入」関数入力へ移行する	11
2.9	四捨五入の計算を行うモード	12
2.10	「四捨五入」関数を確定する	13
2.11	計算結果	14

1 やること

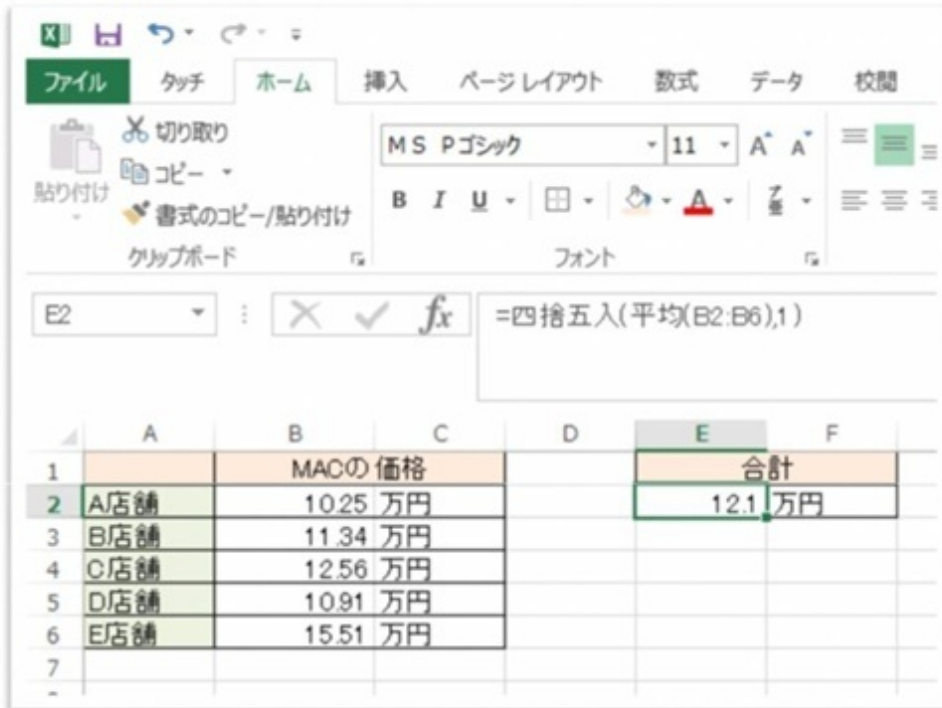


図 1 やること

今回紹介する関数ウィザードの使い方は、「関数をネストさせる」方法です。

関数の「ネスト」とは、関数の中に関数を「入れる」ことです。

図 1 ではセル E2 のように、「四捨五入」関数の中に、「平均」関数をいれています。

セルの内容は、「=四捨五入(平均(B2 : B6),1)」となっていますね。

この状態を関数をネストさせている、といいます。

2 実践手順

2.1 はじめに

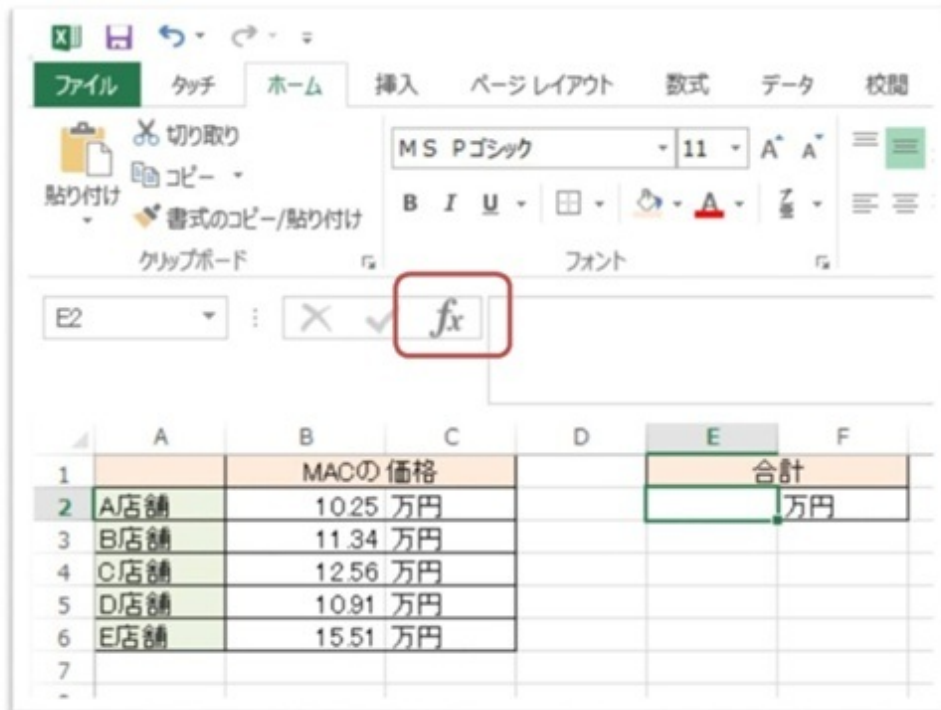



図 2 はじめに

はじめに、この例では、図 2 のようなシートの状態で、セル E2 に関数を関数ウィザードで入力していくものとします。

図 2 の赤枠  の「fx」ボタンをクリックしてください。

2.2 関数ウィザードで四捨五入関数を選ぶ

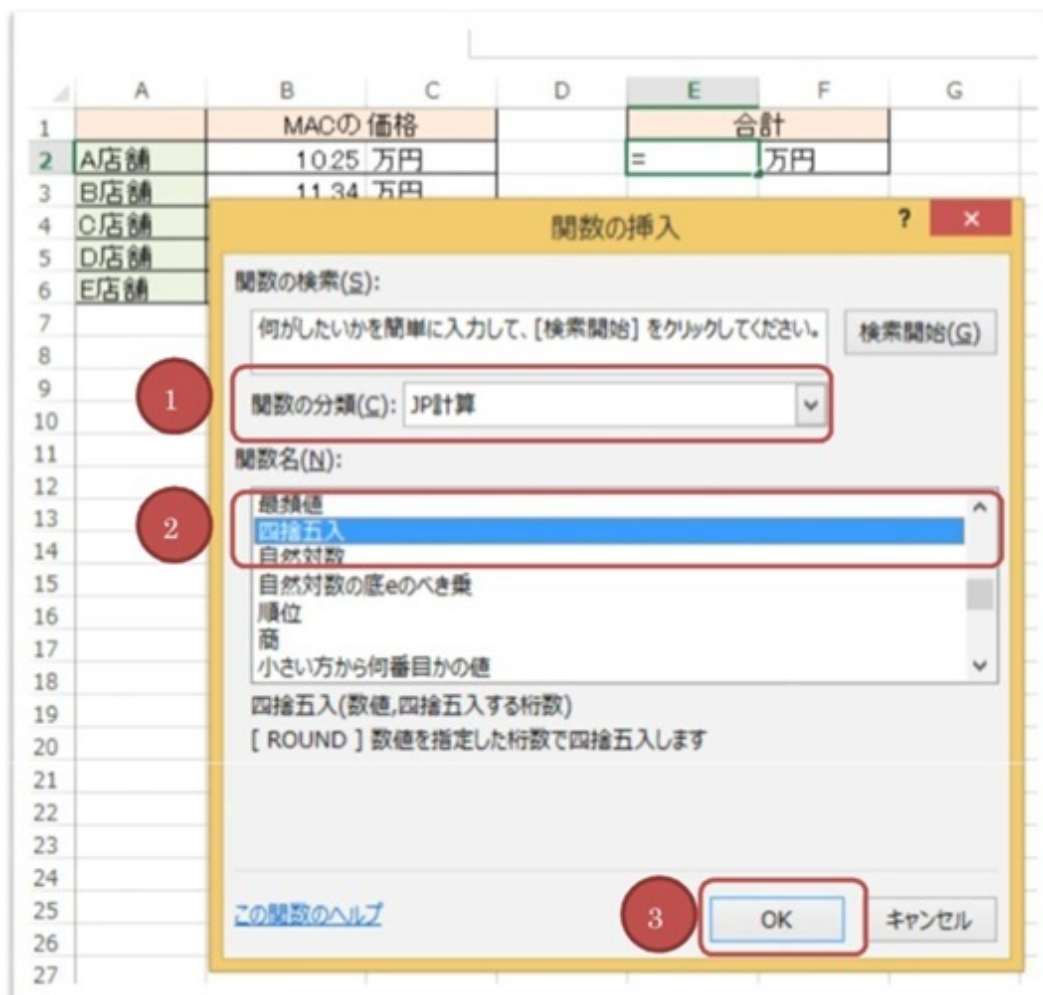


図 3 四捨五入関数

関数ウィザードが表示されたら、

- ① 「関数の分類」から、「JP 計算」を選択します。
- ② 「関数名」から、「四捨五入」関数を選択します。
- ③ 「OK」ボタンをクリックします。

すると、四捨五入関数の「関数の引数」ウィンドウが開きます。(次ページ参照)

2.3 四捨五入関数の「数値」ボックスをクリックする

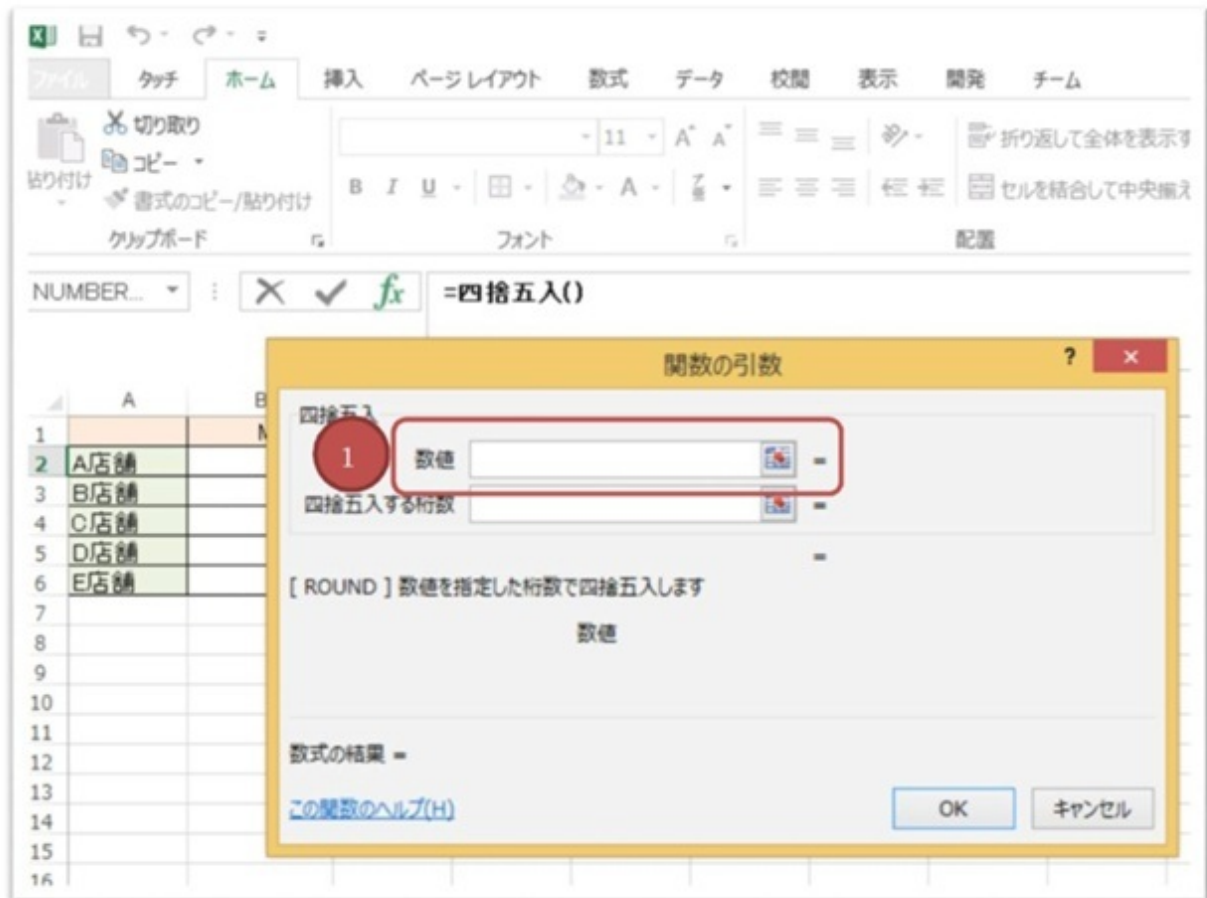


図 4 四捨五入関数の「数値」ボックス

四捨五入関数の「関数の引数」ウィンドウが開いたら、

- ① 数値ボックスをクリックします。

※まだ「OK」ボタンは押さないでください。

ここで、四捨五入関数内の「数値」の中に、「平均」関数を入れていきます。(次ページ以降参照)
そうすることで、「セル範囲の各数値を平均した結果を、四捨五入する」という結果が得られます。

2.4 関数のリストボックスから「その他の関数」を選択する

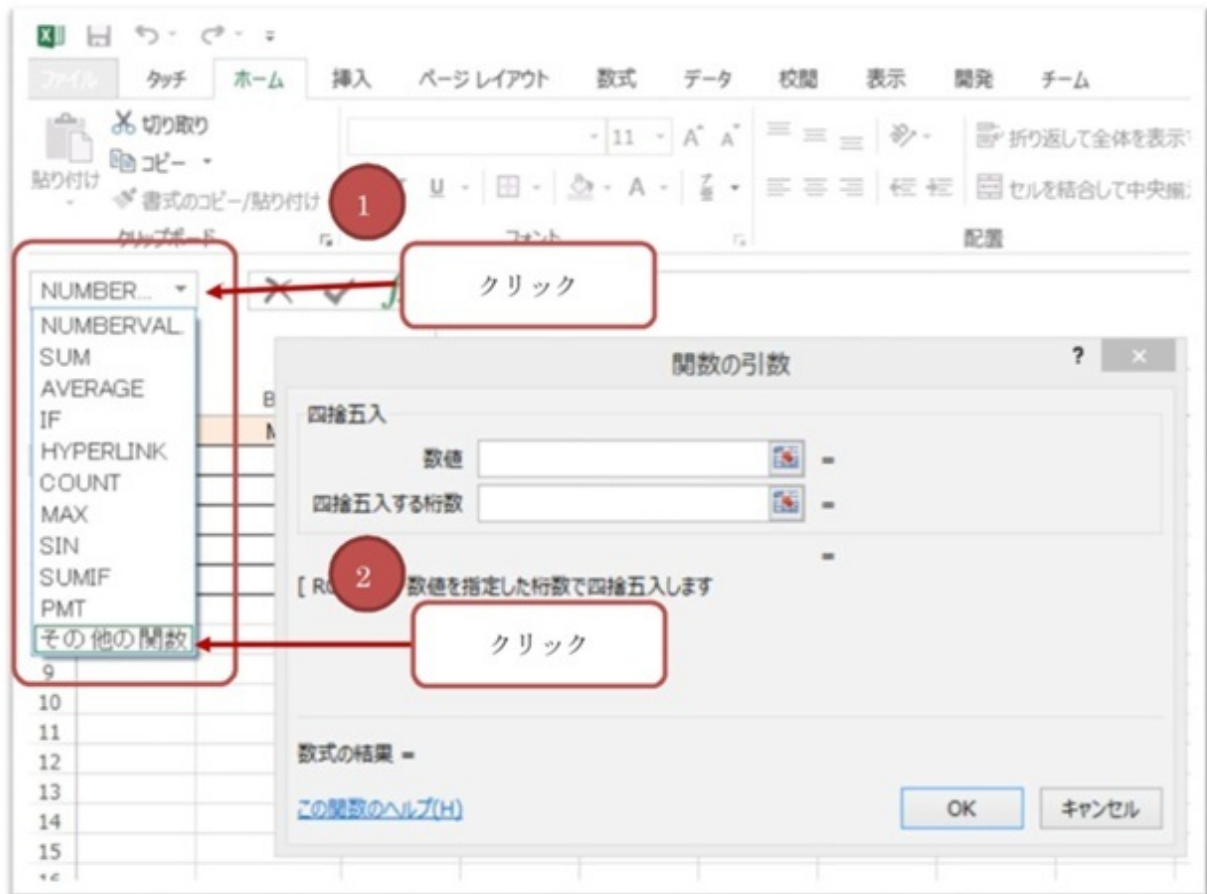


図 5 関数のリストボックスからその他の関数を選択

ここで、「四捨五入」関数の引数である「数値」ボックスの中に、「平均」関数を入れていきます。

手順は以下の通りです。

- ① 「関数リストボックス」と呼ばれる選択ボックスの「▼」をクリックし、図 5 のように、関数のリストを表示させる
- ② 関数のリストの一番下にある「その他の関数」という選択肢をクリックする。

2.5 「平均」関数を選択する

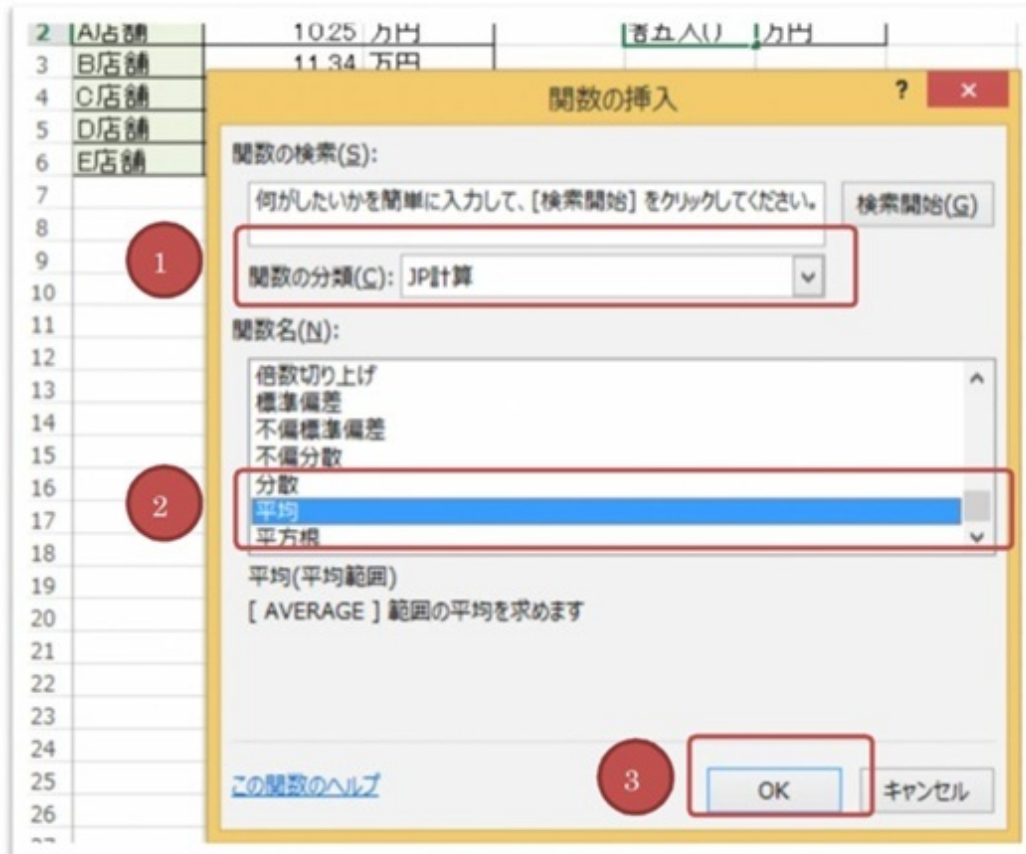


図 6 「平均」関数 を選択する

新しい関数ウィザードが表示されます。

ここから下記手順で、「平均」関数を選択します。

- ① 「関数の分類」から「JP 計算」を選択する。
- ② 「関数名」から「平均」関数を選択する。
- ③ 「OK」ボタンをクリックする

上記手順で、「平均」関数が、「四捨五入」関数の「数値」引数ボックス内に挿入されます。

2.6 平均を計算するセル範囲を指定する。その1

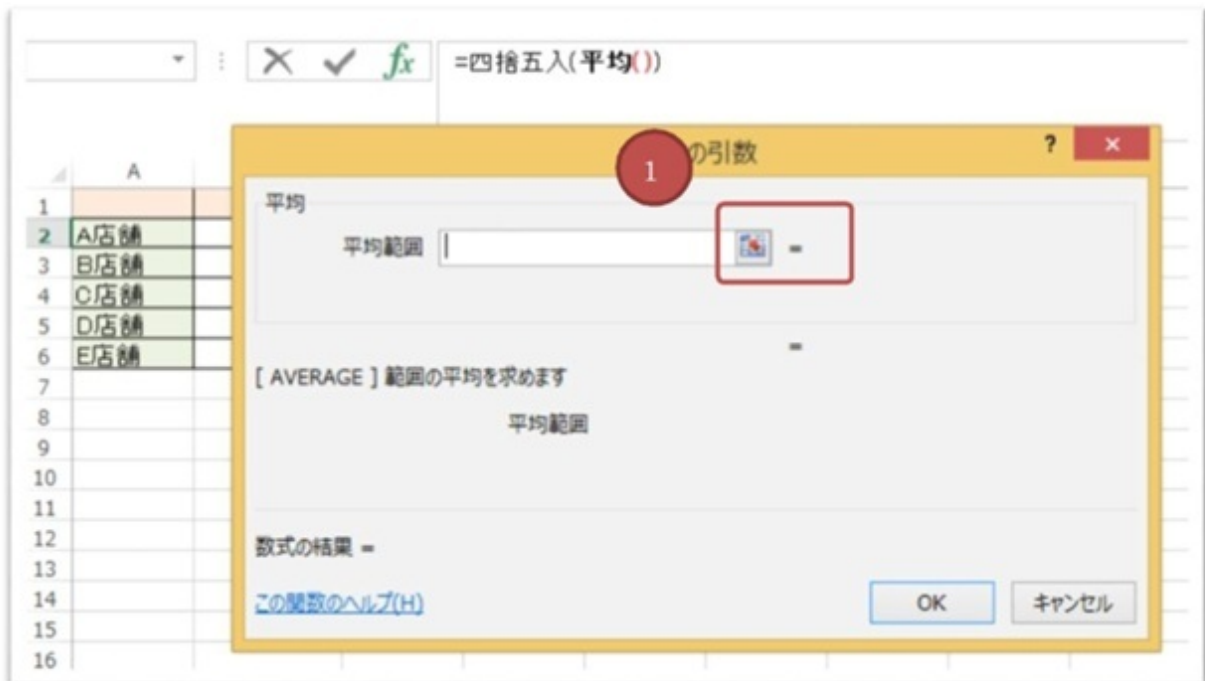


図 7 「平均範囲」を指定する

今までの手順で「平均」関数ウィンドウが開きました。

次に、平均を計算するセル範囲を指定します。

図7の①のボタンをクリックしてください。

2.7 平均を計算するセル範囲を指定する。その2

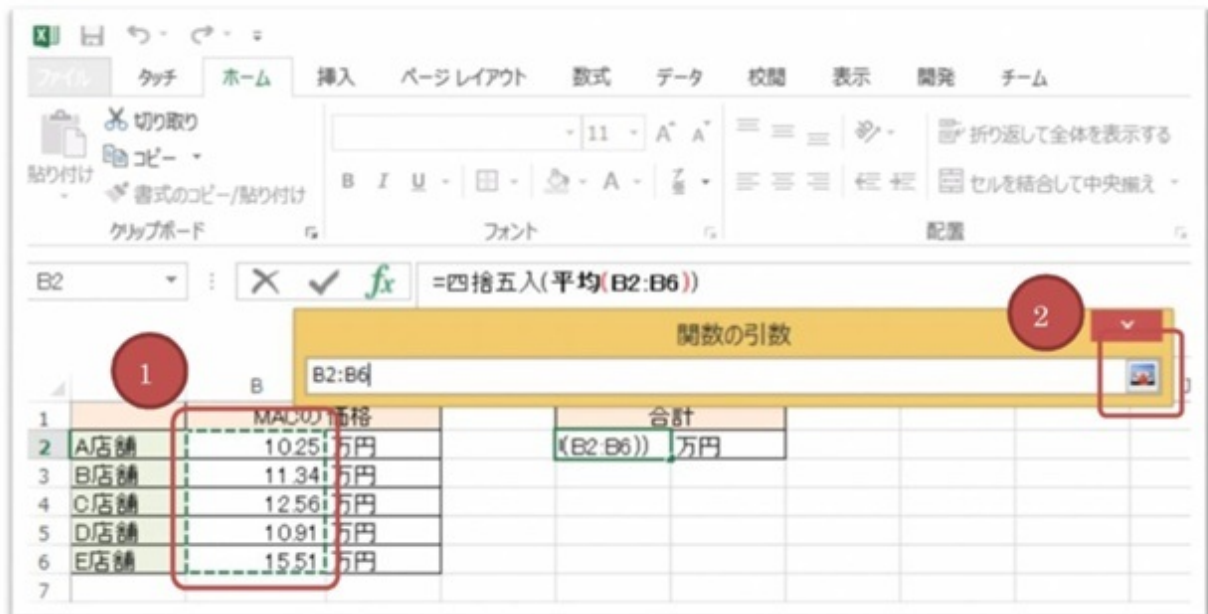


図 8 マウスでセル範囲を指定

平均を計算するセル範囲を指定します。

マウスで①のセル範囲をドラッグします。

その後、②のボタンをクリックし、セル範囲の指定を確定します。

2.8 セル入力ボックスで、「平均」関数入力から「四捨五入」関数入力へ移行する

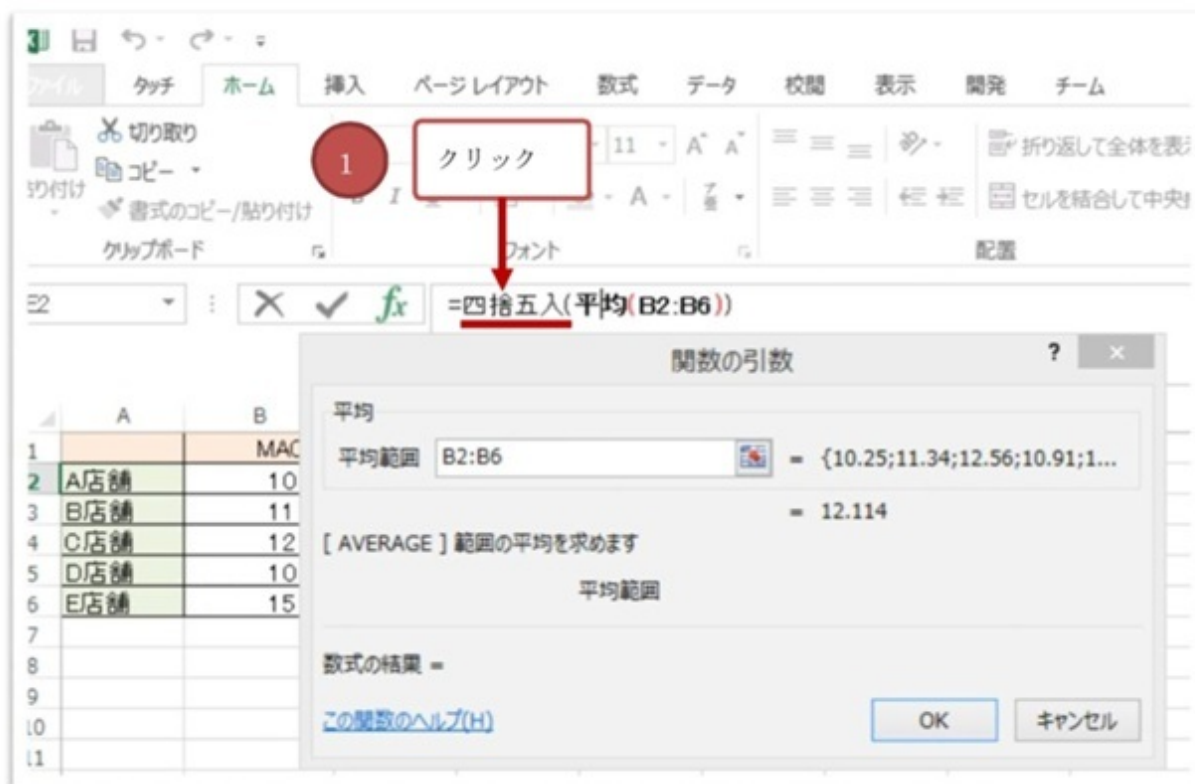


図 9 「四捨五入」という文字をクリックする

今まで、平均を計算してきました。

次は、平均の計算結果を四捨五入します。

図9の①のように、セル入力ボックス内の「四捨五入」という文字をクリックしてください。

その結果、エクセルは「四捨五入」の計算を行うモードになります。

2.9 四捨五入の計算を行うモード

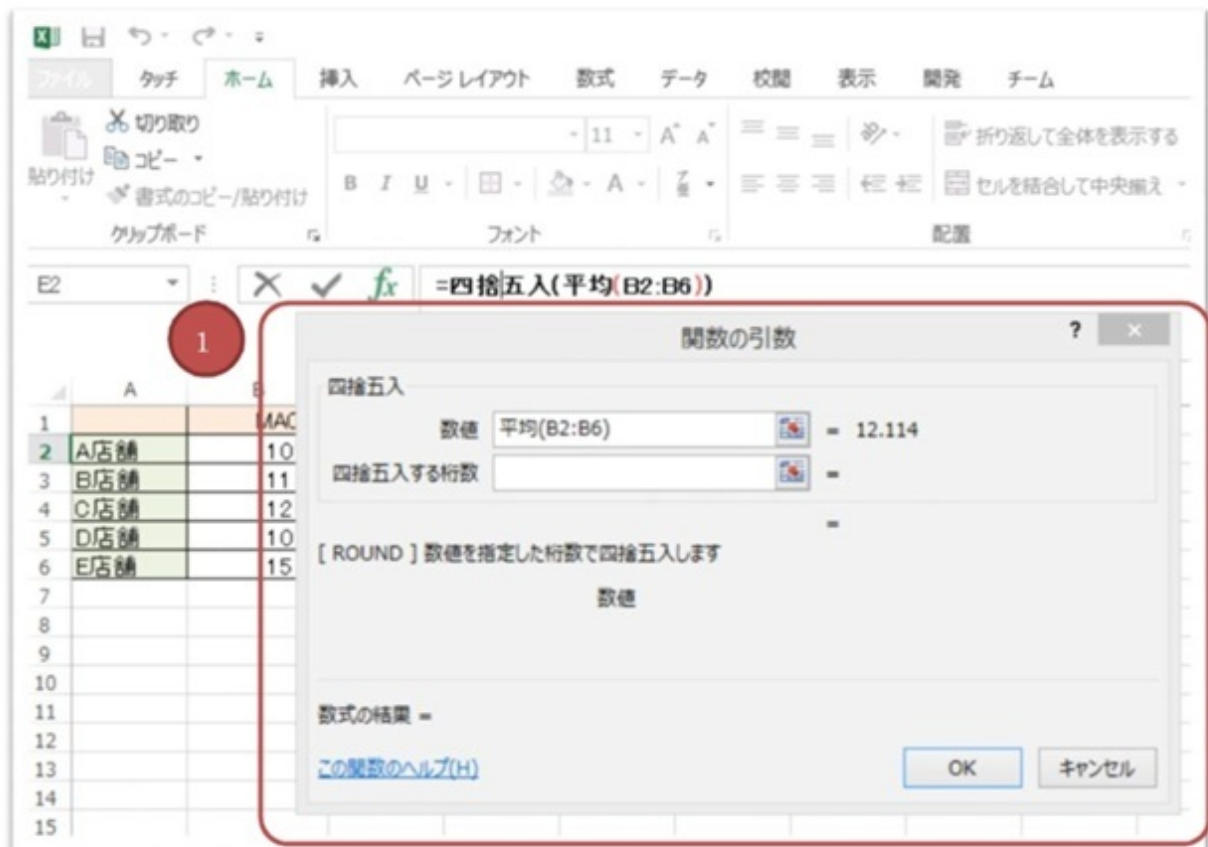


図 10 「四捨五入」関数の引数ウィンドウ

前回の手順で、セル入力ボックスの「四捨五入」という文字をクリックしました。その結果、図 10 の①のように、「四捨五入」関数の引数ウィンドウが表示されます。

「数値」ボックスには、「平均(B2:B6)」が入っています。

次ページで、「四捨五入」関数を確定させます。

2.10 「四捨五入」関数を確定する

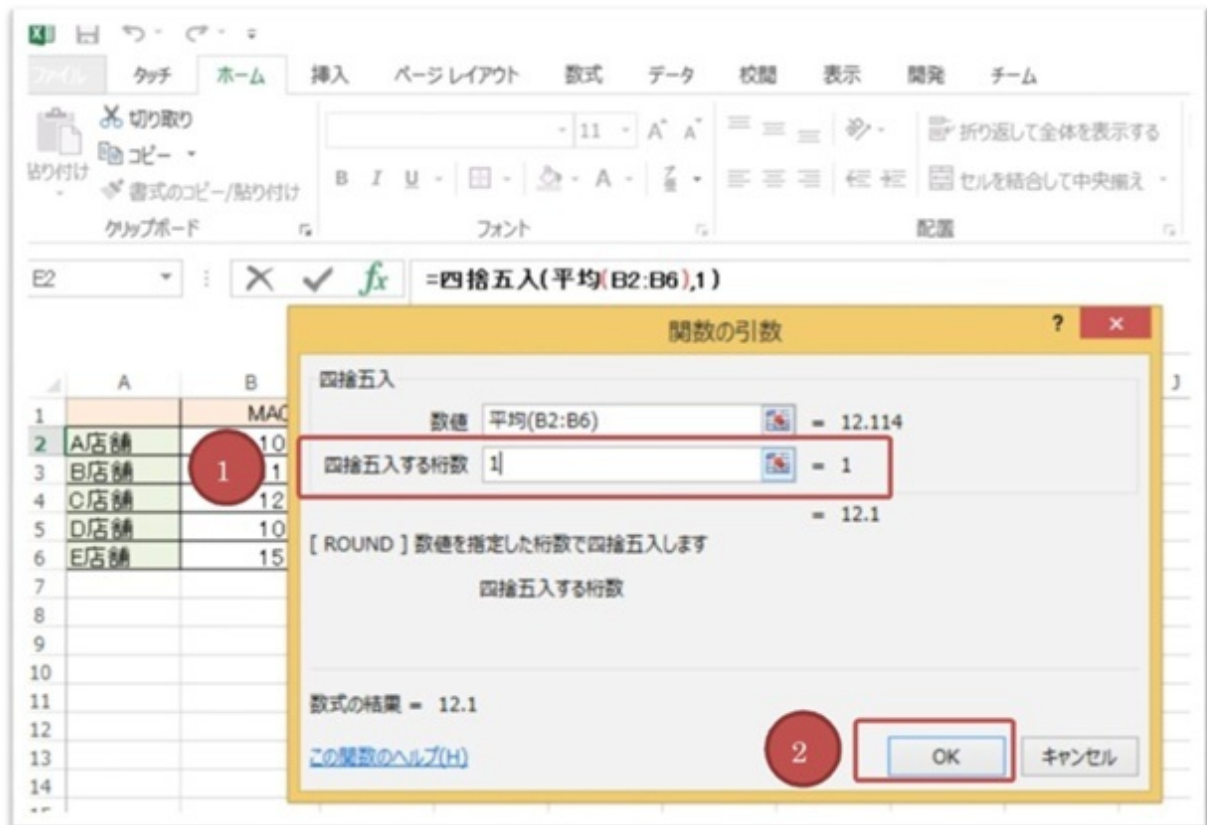


図 11 四捨五入する位を小数点 1 桁にする

「四捨五入」関数を確定しましょう。

図 11 の①の「四捨五入する桁数」に「1」を指定します。
(小数点以下 1 桁で四捨五入する、という意味です)

最後に、②の「OK」ボタンをクリックしてください。

2.11 計算結果

	A	B	C	D	E	F
1		MACの価格			合計	
2	A店舗	10.25 万円			12.1 万円	
3	B店舗	11.34 万円				
4	C店舗	12.56 万円				
5	D店舗	10.91 万円				
6	E店舗	15.51 万円				
7						
-						

図 12 計算結果

最終的な計算結果は図 12 の通りです。

大変お疲れ様でした。

ぜひ、応用されてください。